

3月11日 学内の様子



▲地震直後、学生食堂前に一時避難している教員(15時20分ごろ)

5号館から降り積もった雪を踏みしめて本館へ黙々と向かう学生たち。
(16時50分ごろ)



▲5号館から市中心部を望む



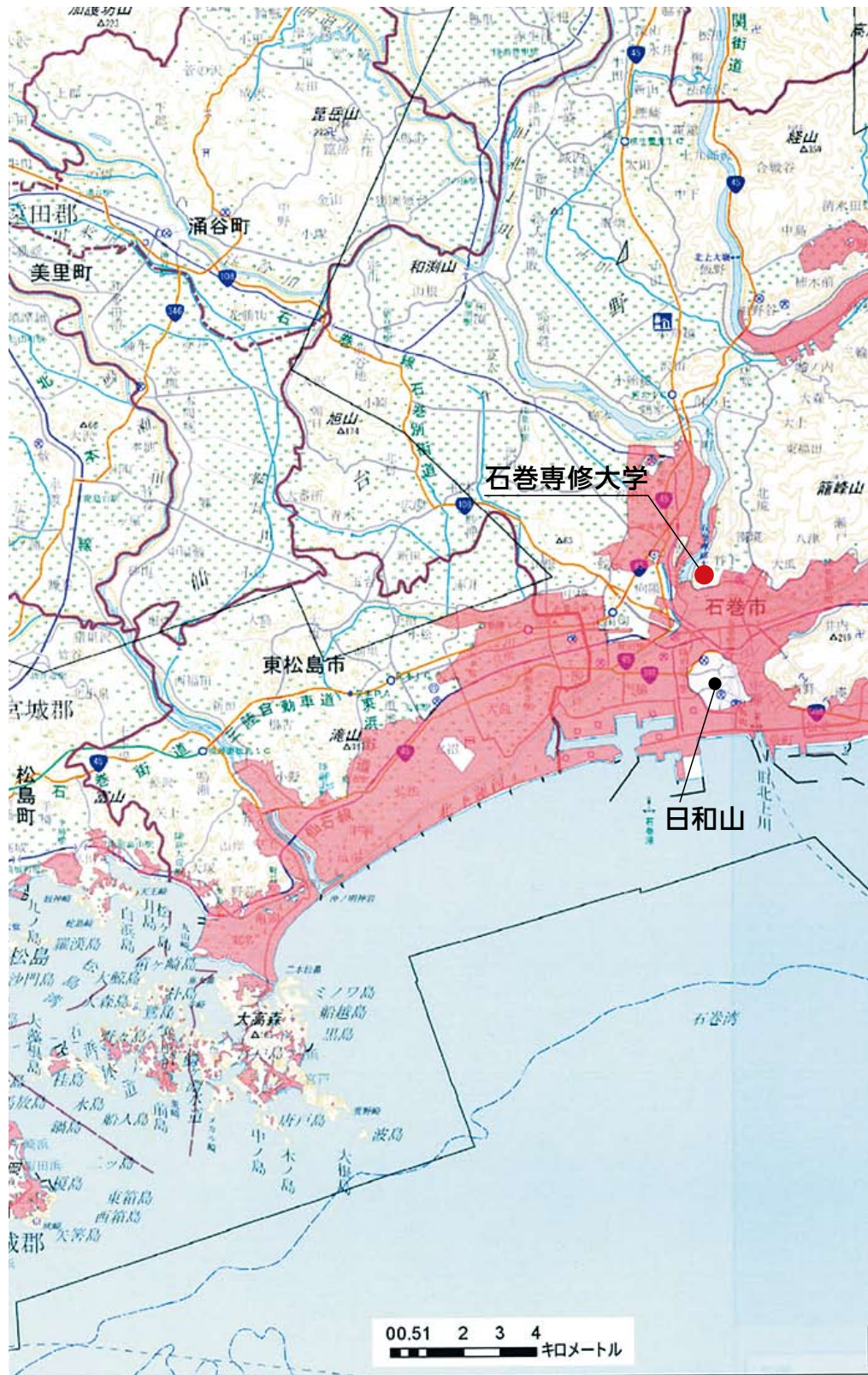
地震直後から本館会議室は近隣住民の一時避難所として利用された。



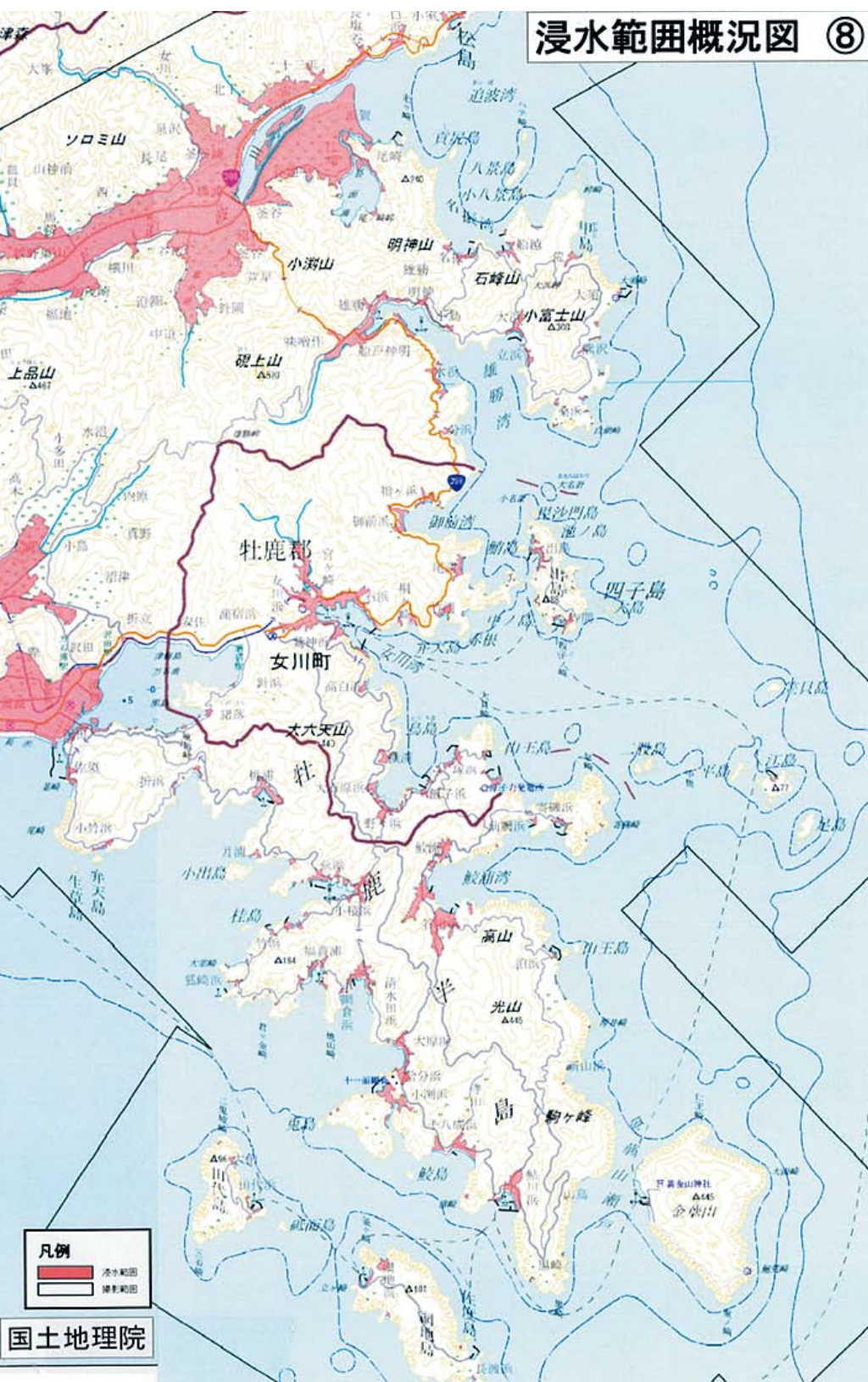
▲一時避難していた5号館から見たグラウンドの様子

浸水範囲概況図

石巻市街は本学と日和山を除いて浸水したことがわかる



(国土地理院ホームページ参照)



3月12日～19日 市内の様子(1)



▲石巻市中里合同庁舎より①(3月12日)



▲石巻市中里合同庁舎より②(3月13日)



▲石巻市元倉付近(3月14日)



▲石巻市八幡町(3月18日)



▲石巻市橋通り(3月18日)



▲石巻市南浜町周辺①(3月18日)

巨大津波とその後の火災により
街は焼け野原となった。津波の力
で跡形もなくなった家並み。街は
更地となり津波が運んだ瓦礫だ
けが散乱している。



▲石巻市南浜町周辺②(3月19日)



▲石巻市南浜町周辺③(3月19日)

3月12日～19日 市内の様子(2)



▲石巻市南浜町付近(3月19日)



▲日和大橋周辺につながる道路(3月19日)

沿岸部に近い、神社の鳥居も津波の勢いで家々ともども壊された。

小学校も津波と火災により壊滅的となる。道路は寸断され、すべての建物が流失してしまった。かろうじて火災にまぬかれた山側の翠の草が残っている。



▲石巻市門脇周辺①(3月19日)



▲津波と火災で廃墟と化した石巻市立門脇小学校(3月19日)



▲石巻市門脇周辺②(3月19日)



▲石巻市門脇周辺③(3月19日)

3月20日 学位記授与式



▲学位記授与式記念写真①



本館一階の事務室前が臨時の学位記授与会場になった。

当時大学にいた15人に学長などから学位記を授与された。



▲学位記授与式②



▲学位記授与式③



▲学位記授与式④

3月30日 専修大学からの支援物資が届く



東京の専修大学から支援物資が届いた。



4月9日 ボランティアセンターの拠点として



3月15日、本学内にボランティアセンターが設置された。

全国から集まったボランティアの人たち。本学のグラウンドにテントを立て、被災地の復興に尽力頂いた。ボランティアの活躍と石巻の被災状況を伝えようとマスコミ関係者も連日取材におとずれていた。





▲全国から届いた支援物資①



▲吉野家のキッチンカーも炊き出し支援におとずれた



▲全国から届いた支援物資②



避難所として提供した4号館。
1階の入口で支援物資の配給を行った▶

4月23日～5月1日 育友会臨時支部懇談会開催



▲秋田会場



▲盛岡会場



▲北上会場



◀青森会場



▲石巻会場

育友会臨時支部懇談会が4月23日から5月1日まで8会場で開催。大学の状況（おもに教育面、生活面、就職支援等）について説明を行った。



▲福島会場



▲仙台会場



▲大崎会場

5月20日 大学再開



▲学生支援ガイダンス①

当該年度の学事暦・修学・授業科目の説明・学生生活全般、学事日程等のガイダンスが開催された。



▲学生支援ガイダンス②



▲学生支援ガイダンス③



5月22日 入学式



▲新入生宣誓

大学入学式が5月22日(日)11時より本学森口記念館にて举行された。スーツ姿の初々しい新入生たちは、これから始まる大学生活に緊張と期待の面持ちがうかがえた。



▲式典中



▲応援団OBによるエール



▲式終了